

みの～れ誕生前から携わっています！

長い長い歴史を経て
今のみのでれが！

「みのくれこけら落とし公演の『田んぼの神様』は、裏方で参加し、舞台の転換を手伝いました。その後、舞台技術ボランティアのStaff Eggが立ち上がり、入りました。ピンスポ操作の研修を受け、いろいろな舞台の本番を経験して今に至るとい感じですね。みのくれの名付け親の野手さんやStaff Egg設立メンバーの一人であるかーちゃん（山本一恵さん）など開館当初から一緒に関わっている方は、年は違えど、同級生のような親しみを感じますね。おみたMagazineの取材・編集を行うみのんぱ編集局に入ったのは、ここがオープンして少し経った頃です。第三者の視点（初めて見る人の気持ち）を忘れないように心がけています。自分で作っているものはどうしても正しいと思ってしまうがただ、みのんぱでは校正などを経験しているので、違っ



Staff Egg 光と風のステージ CUE
みのんぱ編集局 演劇ファミリーMyu
さかい かずみ
酒井和美 さん

「みの～れは、世代や市内・市外問わず
たくさんの方と出会える場所です」と話
す酒井さん。

みの～れと共に生活するスタイル
Minole Life
のすすめ
No.125

池花池に白鳥が飛来しました。季節は秋から冬に移り、陽だまりや温かな鍋物、具たくさん豚汁やけんちん汁が恋しくなりましたね。黄色く色付いた柚子の実も柚子ジャムやシロップがおすすめのようです。風邪をひきやすい時期になるので気を付けてください。今回は、Staff Egg、光と風のステージCUE、みのんぱ編集局、演劇ファミリーMyuに所属している小美玉市先後区にお住いの酒井和美さん取材します。

た視点で見直すという事が自分の仕事にも役立つと思っています。ライブ企画である光と風のステージCUEはアーティスト選定が難しいけれど、順調に流れていますね。アンケートを見てみると「初めて来ました」という声も聞けるので大事な事ですよ」と酒井さん。

酒井さんに趣味を聞いてみました。「ゴルフをやっているのですが、あまり上手じゃないんですよ。舞台やコンサート、ライブにもよく行くのですが、Staff Eggに入っているせいかな、どうしても後ろ（舞台の音響や設備）が気になってチラチラ見てしまうんですよ（笑）とても参考になり、楽しいですよ。職業病みたいなもんです。こういうことを学べたのはStaff Eggに入っていたから。そして、みの～れに関わっているからです。演劇ファミリーMyuの公演にも裏方スタッフとして関わっているの、小さい頃からずっと見ているMyuメンバーの子ども達の成長がとても楽しみです。Myuの音楽を担当して

いた梶井伸子先生もずっと関わってくれて音響操作の席にいて、出演する人たちや音楽全体も観てくれました。プロの人が傍に居てくれたからこそ、力があつたからこそ、今のMyuがあるのだと思います。長い長い歴史があるんですよ」と話してくれました。

酒井さんにとってみの～れは？と聞いてみました。「世代・市内外を問わずいろいろな人と交流が出来る輪を広げてくれるところです。普段の生活ではありえないような人と知り合いになれて、人と人との繋がりができて良かったと思います」と笑顔で話してくれました。

みの～れもお陰様で15歳になりました。たくさんの方に注がれてこんなに大きくなりました。「みの～れ」は笑顔と人がいっぱい。お誕生日おめでとうございます。

（藤田佐知子）